

2008年 花果神使用試験結果報告



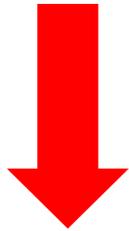
試験の目的

平成14年 販売開始



当初のターゲット:イチゴ・トマト

顕著な効果は見られるが、量が出なかった。



果樹での需要拡大を図る
(一作での使用量が多いため)

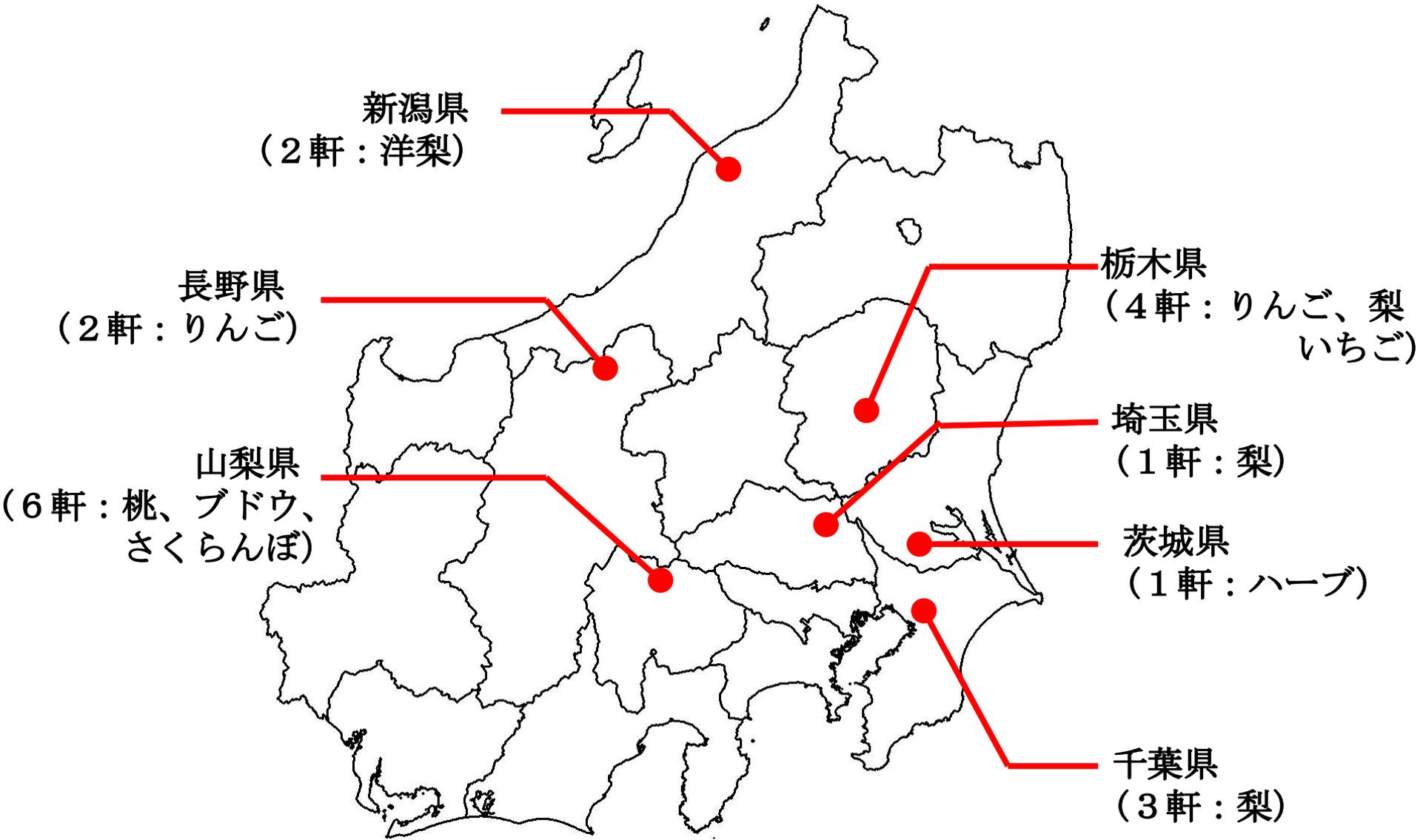


果実の味、見た目など、
果樹農家の品質向上に寄与する



2008年 花果神モニター試験地

国土地理院承認 平14総複 第149号



作物別 花果神使用暦①

【梨】

品種	4月			5月			6月			7月			8月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
新高		果肉細胞分裂期			果実肥大期								
豊水		開花期									花芽分化期(えき芽)		
幸水					花芽分化期(短果枝)						花芽形成期→		
花果神 使用時期	○			○				○			○		○

【洋梨】

品種	4月			5月			6月			7月			8月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
ル・レクチェ		果肉細胞分裂期			果実肥大期								
		開花期									花芽分化期(えき芽)		
					花芽分化期(短果枝)						花芽形成期→		
花果神 使用時期	○			○				○			○		○

【桜桃】

品種	4月			5月			6月			7月			8月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
佐藤錦							生理落果						
高砂				開花期						収穫期			花芽分化期
花果神 使用時期			○		○			○			○		○

作物別 花果神使用暦②

【桃】

品種	3月			4月			5月		6月		7月		8月		9月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬
加納岩白桃				果肉細胞分裂期					硬核期		果肉細胞肥大期				
	花粉・胚珠形成			開花期			生理落果				花芽分化期		雄しべ雌しべ形成		
花果神 使用時期	○		○						○		○	○		○	

【ブドウ】

品種	4月			5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
甲斐路 巨峰 ピオーネ							果肉細胞分裂期			果肉細胞肥大期					
	がく片・花冠・雌しべ・雄しべ形成						開花期		花芽分化期(第1～第4花穂まで)						
花果神 使用時期				○		○	○		○		○		○		

【りんご】

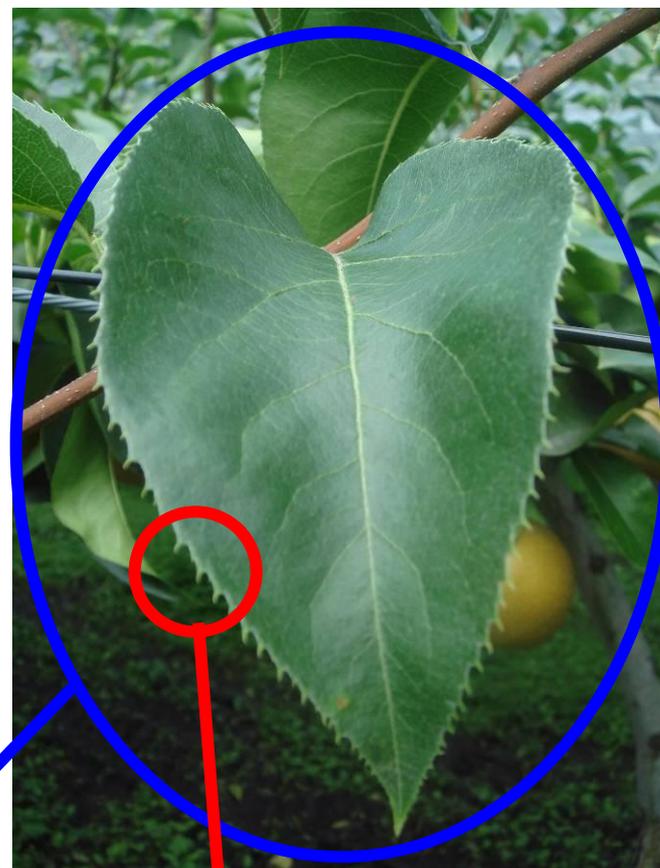
品種	4月			5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
ふじ				果肉細胞分裂期			果肉細胞肥大期 →								
	花粉・胚珠形成			開花期			早期落果(ジューンドロップ)			花芽分化期			雄しべ雌しべ形成		
花果神 使用時期				○		○	○		○						

使用者の声 ①

葉の形状



対照区



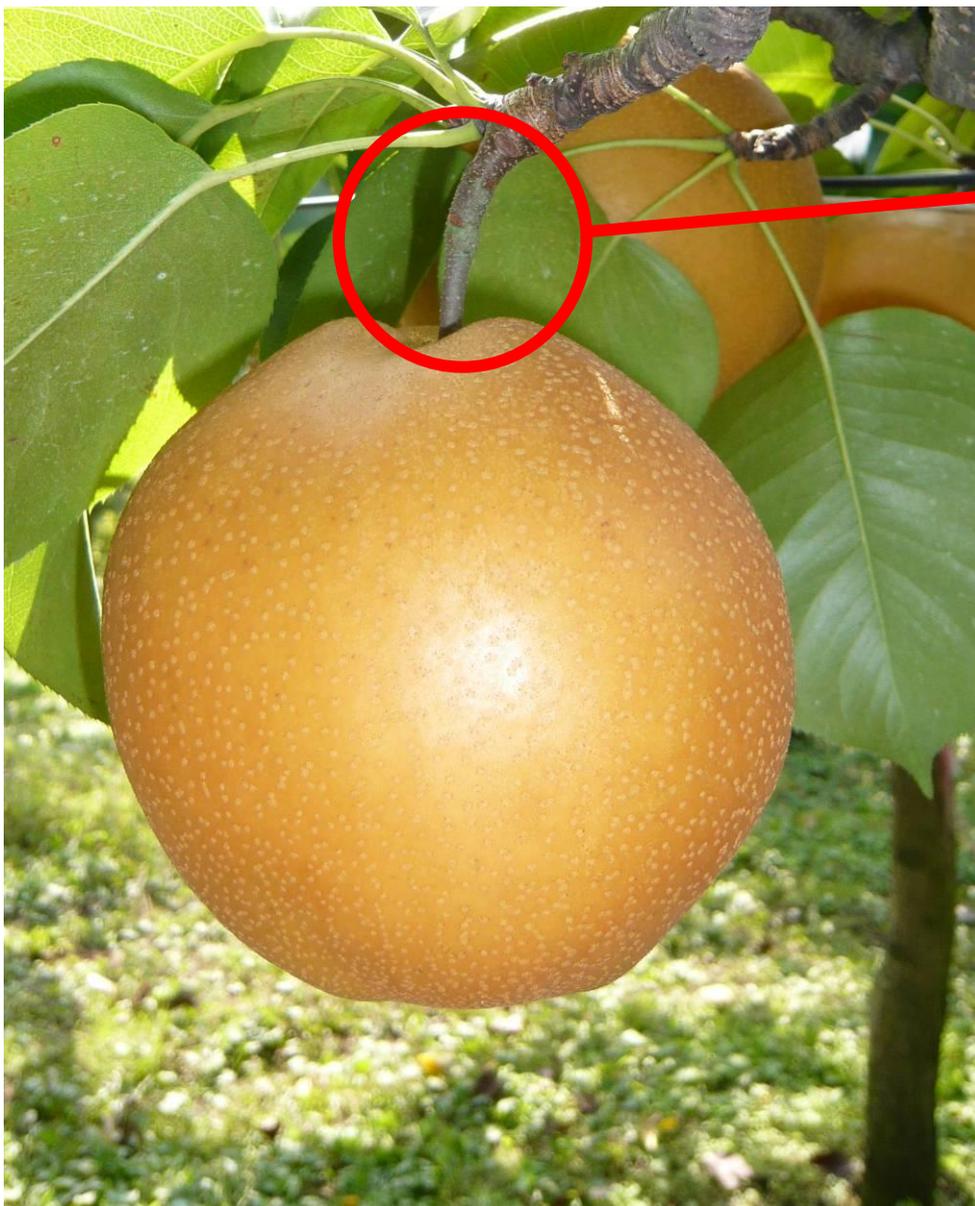
施用区

舟底形(反り返る形)で
厚みがある

葉のエッジが立っている

使用者の声 ②

果梗の長さ



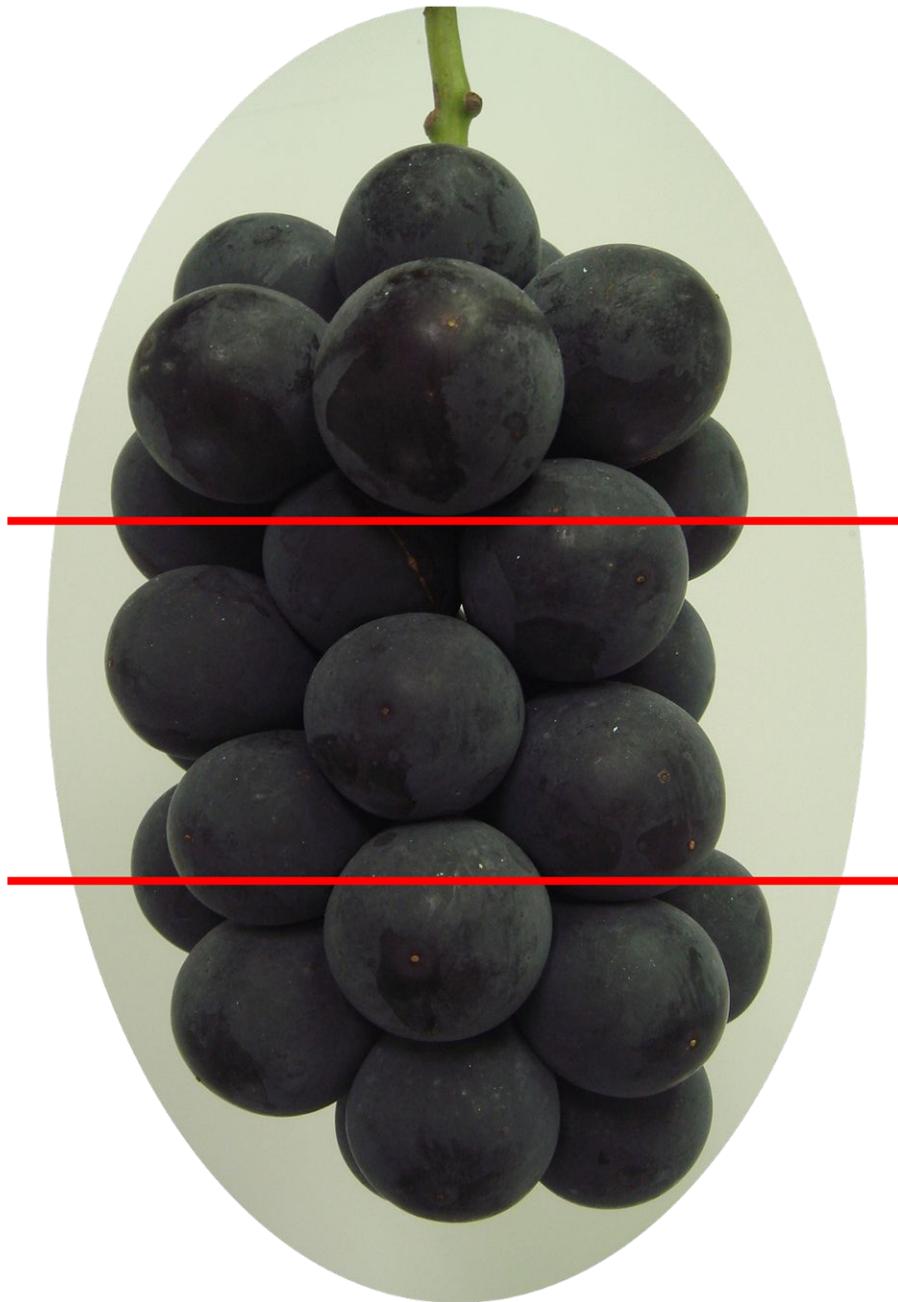
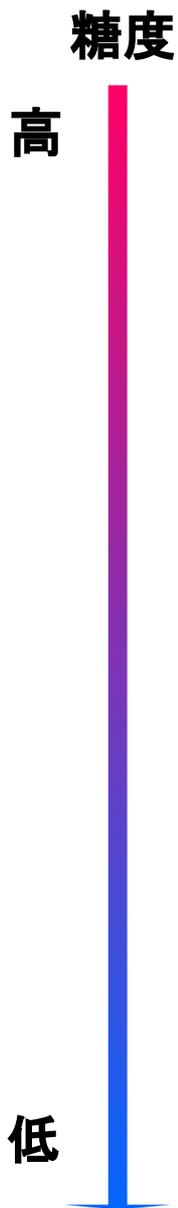
果梗(果実の柄)の軸長が太く長くなる事例が多い。

梨などの大玉品種で、生育後期の生理落果が減少した。

使用者の声 ②

糖度

花果神未使用



花果神使用

使用者の声 ③

栃木県 イチゴでの事例

生産地 : 栃木県 壬生町
栽培品種 : とちおとめ
作付面積 : 70 a
使用ハウス : 4棟 20 a



08年2月下旬撮影

発生事例

例年2月後半頃は、樹勢の低下が見られ、収穫量が若干減少し、果実のサイズが小さくなる傾向にある。

対処方法

花果神Lを11月頃より10日に一回の間隔で煙霧機で撒布

使用後の状況

葉にツヤが出た。
形が舟底型になった。

→理想的な受光体勢



実成りが改善された。
成り疲れが減少した。

→収量増、品質改善



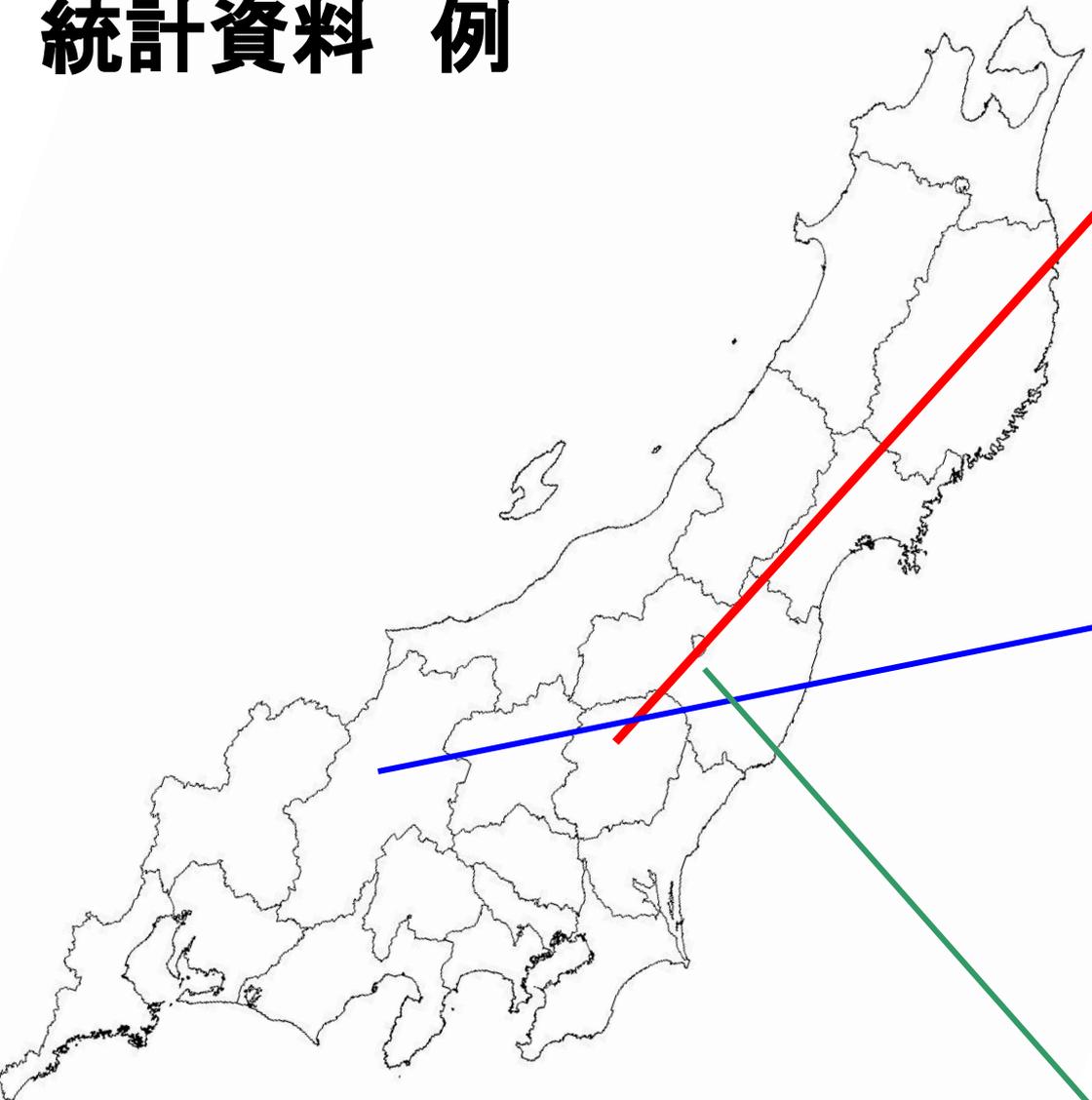
使用者の声 ④ その他

- ・収穫までの玉ごとの生育、着色のずれが減少した。(桜桃、桃)
→桜桃では収穫時期が同時になり、収穫が追いつかなかった。
- ・蜜の乗り方がよくなった。(りんご)

・「悪くはない」という感想だが、顕著な効果は見られにくかった。

→生育初期に天候の変動が例年に比べ大きく、
全体的に生育が良好ではなかった。
二年目以降も試験し、継続使用による効果の証明が必要である。

統計資料 例



いちご

栃木県	647ha
潜在需要	:6500箱
売上試算	:5200万円

りんご

長野県	8340ha
潜在需要	:33400箱
売上試算	:2億6700万円

キュウリ

福島県	920ha
潜在需要	:5500箱
売上試算	:4400万円

花果神のセールス☆ポイント

ここ大事！！

撒布方法→100～250Lに一袋
農薬との混用可能！

特に 開花前の撒布は絶対必須！！

ここ見て！！

- ①撒布後10～14日の花の大きさ・数
- ②葉のツヤ・形（ツヤが出て、舟底型）
- ③果梗の長さ・太さ（長くて太い！）
- ④果実肥大・日持向上・着色良好

つまり！！

花は鮮やか！ 実は艶やか！
食べればジューシー間違いなし！
（品質向上・収量増加期待特大！）